

文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム
令和2(2020)年度「職域・地域架橋型—価値に基づく支援者育成」
職域架橋型コース(C-1)・地域連携型コース(C-2) 募集要項

1. プログラムの目的及び内容

患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる人材を育成する。

Co-production（当事者と回復を共同創造できること）、

Trauma-informed care（トラウマが存在する可能性を熟知して支援にあたること）、

Organizational change（これらの理念を実践できるよう組織を変革すること）、

をコアとなる素養と位置づけ、これらを身につけるよう、実践的な学習を深める。

上記の三つの素養の獲得を通じて、患者の価値にもとづく支援（value-based service）を行う能力が身につく。

また所定の時間（年間120時間の講義受講及び実習）を修了した際に授与される履修証明により、患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる高度な医療人材であることを客観的に明らかにすることができる。

職域架橋型コースは、心理系職員等の総合病院等の医療のなかで多職種協働ができる、あるいは医療と協働できる人材の育成をめざす。

地域連携型コースは、行政職員やPSW等の医療と地域（教育、保健、福祉、行政）の連携をコーディネートできる人材の育成をめざす。

2. 応募資格

(1) (2) 双方を満たす方

(1) 4年制大学卒業者、または大学卒業者と同等以上の学力を有すると認められた22歳以上の方

(2) 医療、学校、行政（保健・福祉）などの領域で対人支援職を目指す方。または既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

3. 募集人員

職域架橋型コース(C-1) 15名

(医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が対象。看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントにもとづく支援力向上を目指す方等も対象に含む。)

地域連携型コース(C-2) 15名

(主に行政、社会福祉、学校教育、NPO法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象。医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象に含む。)

4. 受講期間

2020年4月～2021年3月

5. 開催場所

東京大学本郷キャンパス・医学部附属病院内会議室（文京区本郷7-3-1）

6. 受講内容

C-1 コース

精神医学・発達精神医学、心理検査、心理療法、研究法、精神分析の講義や演習（8時間×12日）と学内（6時間×2日）や学外（6時間×2日）連携施設における実習。

C-2 コース

共同創造の時代のメンタルヘルス、精神保健サービスの構築と質の評価、地域保健の現場、地域連携といったテーマの講義や演習（8時間×12日）と、学内（6時間×2日）や学外（6時間×2日）連携施設における実習。

（詳細は別紙プログラム一覧参照）

※C-1とC-2は別々のコースとなっております。C-1（奇数月）、C-2（偶数月）となっておりますので、両方の申込みも可能です。

7. 出願書類

- (1) 履歴書（指定の様式で作成）
- (2) エントリーシート（指定の様式で作成）
- (3) 志願理由書（A4 1枚程度）
- (4) 応募資格（1）を証明する書類（卒業証書、在学証明書等）の写し等
応募資格（2）を証明する書類（免許等）の写し等。資格未取得等の場合には必須ではない。

8. 出願先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F 精神神経科 TICPOC 事務局

9. 出願期間

令和元年（2019年）12月1日～~~令和元年（2019年）12月23日（必着）~~（随時1次選考・2次選考を実施）
締切日を令和2年（2020年）1月17日（金）消印有効に延長しました。

1次選考：履歴書、志願理由書等の書類審査により選考する。

2次選考：面接により選考する。

11. 選考発表及び受講手続き

令和2年（2020年）~~1月31日~~ **（2月上旬頃まで）**

選考の結果を電子メールにて通知する。

受講を認められた方には関係書類を送付する。

12. 受講料

各コース1年間 9万円（学生は5万円）

※他コースの受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、1.5万円/日（学生は0.8万円/日）の受講料となる。

※両コース併願の場合の受講料金額割引について検討中。

13. 問い合わせ先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F 精神神経科 TICPOC 事務局

TEL：03-3815-5411（内線：36052）

E-mail：utokyo.co.production.training@gmail.com

URL：http://co-production-training.net/

14. その他

採用者決定後、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。応募書類は本応募の用途に限り使用し、こちらで責任をもって廃棄させていただきます。

2020年度 プログラム一覧

C-1 コース (予定)

	講義タイトル	講師
5/23 (土)	TICPOC 概要説明	TICPOC 事務局 笠井清登 濱田純子
	【実践と倫理】 心理臨床実践と研究の倫理	日本大学文理学部心理学科 津川律子 教授
	【精神医学】 多職種協働における多元主義	京都大学大学院医学系研究科 村井俊哉 教授
5/24 (日)	【精神医学】 身体疾患患者の心理支援	東京大学医学部附属病院 市橋香代 特任講師
	【精神医学】 2つの視点で考える統合失調症を持つ方の支援	東京大学大学院医学系研究科 森田健太郎 助教
	うつ病	里村嘉弘 特任講師
	薬理	神出誠一郎 准教授
7/11 (土)	【精神分析】 精神分析的な心理療法の基礎	帝京大学心理臨床センター 笠井さつき 准教授
	【精神分析】 精神分析を生きる	上智大学総合人間科学部心理学科 藤山直樹 名誉教授
7/12 (日)	【精神分析】 力動的視点を非精神分析的ケア場面に適用する	神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科 若佐美奈子 准教授
	【精神分析】 チーム支援を有効にする精神力動的視点	京都大学 松木邦裕 名誉教授
9/5 (土)	【研究法】 研究成果の普及と実装の科学	東京大学大学院医学系研究科 金原明子 精神保健福祉士
	【研究法】 精神保健研究の方法論、意思決定支援研究	国立精神・神経医療研究センター 山口創生 室長
	【研究法】 質的研究入門ーデータ分析のはじめの一步	東京大学大学院教育学研究科 能智正博 教授
9/6 (日)	【精神医学】 総合病院精神医学、多職種協働	東京大学医学部附属病院 近藤伸介 特任講師
	当事者研究の歴史と理念	東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎 准教授
	自他の身体に関する知識と社会変革： 当事者研究とソーシャルマジョリティ	東京大学先端科学技術研究センター 綾屋紗月 特任研究員
	ワークシートを使った当事者研究の体験	ダルク女性ハウス 上岡陽江 代表

	講義タイトル	講師
11/14 (土)	【心理検査】 知能検査や認知機能検査によるアセスメント	上智大学総合人間科学部心理学科 松田修 教授
	【心理検査】 見えない心を可視化する ー 心理アセスメントによるケース理解ー	中村心理療法研究室 中村紀子 国際ロールシャッハ学会会長 臨床心理士
11/15 (日)	【心理療法】 認知行動療法	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
	【心理療法】 ストレスケアのためのコーピングと認知行動療法	洗足ストレスコーピング・サポートオフィス 伊藤絵美 所長
1/16 (土)	【発達】 発達障害の臨床	東京大学大学院医学系研究科 金生由紀子 准教授
	【発達】 発達障害アセスメント	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部 子どもケア学科 黒田美保 教授
1/17 (日)	【心理療法】 慢性疼痛患者の心理支援	名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学 名古屋市立大学病院いたみセンター 酒井美枝 臨床心理士
	【心理療法】 コラージュ療法の理論と実際	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
2/20 (土)	地域と共に生きる寺院と「集いの場」	大正大学社会共生学部 高瀬顕功 専任講師
	薬物依存症をもつ人を地域で支える	国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦 部長
2/21 (日)	臨床心理学の社会論的転回	十文字学園女子大学人間生活学部 人間発達心理学科 東畑開人 准教授
	ヤングケアラー	成蹊大学文学部現代社会学科 澁谷智子 教授

※講師、講義タイトル、内容等は変更となる可能性がございます。

※9月と2月はC-1・C-2 合同講義となります。

C-2 コース (予定)

	講義タイトル	講師
4/18 (土)	TICPOC 概要説明	TICPOC 事務局 笠井清登 熊倉陽介
	当事者研究と専門知ー精神保健サービスの 共同創造の方法論を目指してー	東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎 准教授
4/19 (日)	22q11.2 欠失症候群ー重複する障害を抱えた子どもと その家族の生活ー	22 HEART CLUB 三ツ井幸子 副代表
	家族が望む精神科医療と地域社会	あおば福祉会 島本禎子 理事長
	中動態の世界——意志と責任の考古学	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院 國分功一郎 教授
6/6 (土)	TICPOC 演習	
	プライマリ・ケアと精神科医療を統合した訪問診療	祐ホームクリニック吾妻橋 夏堀龍暢 院長
6/7 (日)	地域共生社会におけるメンタルヘルスの戦略	川崎市精神保健福祉センター 竹島正 所長
	東日本大震災におけるメンタルヘルス	岩手医科大学精神神経科学講座 大塚耕太郎 教授
9/5 (土)	研究成果の普及と実装の科学	東京大学大学院医学系研究科 金原明子 精神保健福祉士
	精神保健研究の方法論、意思決定支援研究	国立精神・神経医療研究センター 山口創生 室長
	質的研究入門ーデータ分析のはじめの一步	東京大学大学院教育学研究科 能智正博 教授
9/6 (日)	【精神医学】 総合病院精神医学、多職種協働	東京大学医学部附属病院 近藤伸介 特任講師
	当事者研究の歴史と理念	東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎 准教授
	自他の身体に関する知識と社会変革： 当事者研究とソーシャルマジョリティ	東京大学先端科学技術研究センター 綾屋紗月 特任研究員
	ワークシートを使った当事者研究の体験	ダルク女性ハウス 上岡陽江 代表

	講義タイトル	講師
10/17 (土)	TICPOC 演習	
	リカバリー・ピアサポートとピアサポートワーカー	東京大学大学院医学系研究科 宮本有紀 准教授
		東京大学医学部附属病院 佐々木理恵 学術支援専門職員
10/18 (日)	トラウマインフォームドケア	兵庫県こころのケアセンター 亀岡智美 副センター長兼研究部長
	対人支援サービスの質の評価と PDCA サイクル	東京大学大学院工学研究科 水流聡子 特任教授
12/19 (土)	TICPOC 演習	
	家父長制と資本制とケア	認定 NPO 法人ウィメンズ アクション ネットワーク 上野千鶴子 理事長
12/20 (日)	学校メンタルヘルスと若者の自殺対策	NPO 法人 LightRing. 石井綾華 代表理事
	文京区の虐待対策と子ども家庭支援	文京子ども家庭部子ども家庭支援センター 職員
	事故・事件の被害者支援	被害者支援都民センター 鶴田信子 心理相談担当責任者
2/20 (土)	地域と共に生きる寺院と「集いの場」	大正大学社会共生学部 高瀬頭功 専任講師
	薬物依存症をもつ人を地域で支える	国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦 部長
2/21 (日)	臨床心理学の社会論的転回	十文字学園女子大学人間生活学部人間発達 心理学科 東畑開人 准教授
	ヤングケアラー	成蹊大学文学部現代社会学科 澁谷智子 教授

※講師、講義タイトル、内容等は変更となる可能性があります。

※9月と2月はC-1・C-2 合同講義となります。